

**修学旅行行ってきました！**

沖縄の梅雨明けは例年6月下旬頃なので天気が心配でしたが、3日間とも本当にいい天気の真夏日でした。1日目はひめゆり平和資料館で見学をし、ガマでガイドさんから沖縄戦の話を聞きました。見学の態度や話を聞く態度は本当にすばらしく、暑い中でしたがみんな真剣に受け止め、戦争の悲惨さを学んでいました。その後全員そろって平和祈念公園でセレモニーを行いました。みんなで心をひとつにして平和を願う大切な時間となりました。ホテルでは夕食後、レクリエーション大会を行いました。歌ありダンスありお笑いありと大盛り上がりでした。2日目は伊江島に渡りました。きれいな真っ青な海でのバナナボート、自由遊泳最高でした。民家さんにお世話になり様々な体験をさせていただきました。3日目、フェリーに乗る前に民家さんと泣きながら抱き合う姿、フェリーからいつまでも手を振る姿を見て、とても大切なものを得ることができたと確信しました。国際通りでは沖縄料理を食べたり、お土産を買ったりと、友達と楽しく過ごしていました。あまりの暑さで体調不良者も出ましたが、全員予定通り帰ってくることができました。出発は朝早く、到着は夜遅くになりましたがご協力していただきありがとうございました。平和セレモニー、レクリエーションの実行委員会のみなさん、演者のみなさん、生徒会のみなさん、他にもたくさんの方に支えていただいた修学旅行だったことを忘れないでください。

期末テスト 終了！

期末テストが終わりほっとしていると思いますが、あと少しで懇談会が始まります。1学期を振り返ってみてどうでしたか？まだまだエンジンがかかっていない人が多いように思います。進路決定まで全員に等しく与えられているのが『時間』です。この時間をどう過ごすかは『自分次第』です。自分の将来を見据え、与えられた限られた時間を有効利用し、何をしなければならないのかを自分でしっかりと考えて過ごしましょう。

7月行事予定

日	曜	学校行事	1	2	3	4	5	6	給食	清掃
1	火	火1～6 クラブ写真①	火1	火2	火3	道徳	火5	火6	○	○
2	水	水1～6 クラブ写真②	水1	水2	水3	水4	水5	水6	○	○
3	木	木1～6 クラブ写真(予備日) SC	木1	木2	木3	木4	木5	総合	○	○
4	金	金123465 SB:専門委員会 放課後学習	金1	金2	金3	金4	学活	専委	○	×
5	土									
6	日									
7	月	☆月1～6 SA:薬物乱用防止教室	月1	月2	月3	月4	月5	薬物防止	○	×
8	火	☆火1～4 PM:教員研修	火1	火2	火3	道徳			○	×
9	水	☆水1～6	水1	水2	水3	水4	水5	水6	○	○
10	木	木1～6 SC	木1	木2	木3	木4	木5	総合	○	○
11	金	☆金1～4 期末懇談会①	金1	金2	金3	金4			○	×
12	土									
13	日									
14	月	☆月1～4 期末懇談会②	月1	月2	月3	月4			○	×
15	火	☆火1356 期末懇談会③	火1	火3	火5	火6			○	×
16	水	☆水3456 期末懇談会④	水3	水4	水5	水6			○	×
17	木	☆水12月5学 4限大掃除(30分)学活(15分)SC	水1	水2	月5	学活			○	○
18	金	終業式・学活(20分)	終業式	学活					×	×
8月		閉庁日(12,13日) 第2回学力診断テスト(26日) 岸和田市英語暗唱大会(27日)	SC…スクールカウンセラー ☆45分授業							

3年間の締めくくり

クラブ活動では、3年生最後の大会が近づいてきています。3年間取り組んできた集大成を発揮するときがきます。残りわずかですが悔いのない取り組みをして、自信をもって最後の大会に臨んでいってください。後輩たちへいい形で引き継いでいけるようなすばらしい試合や発表でありますように。

※裏に6月23日慰霊の日に沖縄全戦没者追悼式で読まれた「平和の詩」をのせています。

「おばあちゃんの歌」

豊見城市伊良波小学校 6 年 城間 一步輝(いぶき)

毎年、ぼくと弟は慰霊の日に
おばあちゃんの家に行って
仏壇に手を合わせウートーをする

一年に一度だけ
おばあちゃんが歌う
「空しゅう警報聞こえてきたら
今はぼくたち小さいから
大人の言うことよく聞いて
あわてないで さわがないで 落ち着いて
入って いましよう防空壕」

五歳の時に習ったのに
八十年後の今でも覚えている
笑顔で歌っているから
楽しい歌だと思っていた
ぼくは五歳の時に習った歌なんて覚えていない
ビデオの中のぼくはあんなに楽しそうに踊りながら歌っているのに

一年に一度だけ
おばあちゃんが歌う
「うんじゅん わんにん
艦砲ぬ くえーぬくさー」

泣きながら歌っているから悲しい歌だと分かっていた
歌った後に
「あの戦の時に死んでおけば良かった」
と言うからぼくも泣きなくなった

沖縄戦の激しい艦砲射撃でケガをして生き残った人のことを
「艦砲射撃の食べ残し」
と言うことを知って悲しくなった
おばあちゃんの家族は

戦争が終わっていることも知らず
防空壕に隠れていた
戦車に乗ったアメリカ兵に「デテコイ」と言われたが
戦車でひき殺されると思い出て行かなかった

手榴弾を壕の中に投げられ
おばあちゃんは左の太ももに大けがをした
うじがわいて何度も皮がはがれるから
アメリカ軍の病院で
けがをしていない右の太ももの皮をはいで
皮ふ移植をして何とか助かった

でも、大きな傷あとが残った
傷のことを誰にも言えず
先生に叱られても
傷が見える体育着に着替えることが出来ず
学生時代は苦しんでいた

五歳のおばあちゃんが防空壕での歌を歌い
「艦砲射撃の食べ残し」と言われても
生きてくれて本当に良かったと思った

おばあちゃんに
生きていてくれて本当にありがとうと伝えようと
両手でぼくのほっぺをさわって
「生き延のびたくとう　ぬちぬ　ちるがたん」
生き延びたから　命がつながったんだね
とおばあちゃんが言った

八十年前の戦争で
おばあちゃんは心と体に大きな傷を負った
その傷は何十年経っても消えない
人の命を奪い苦しめる戦争を二度と起こさないように
おばあちゃんから聞いた戦争の話を伝え続けていく
おばあちゃんが繋いでくれた命を大切に
一生懸命に生きていく